

AEON



MaxValu

第12期 中間報告書
2013.3.1～2013.8.31



MaxValu

マックスバリュ九州株式会社

証券コード:3171

クリーニング

より信頼される企業を目指して

経営理念

1

お客様第一に徹して、
お客様の喜びを私たちの喜びとします。

2

お客様にとって
価値ある商品とサービスを提供します。

3

信頼される企業市民として
地域社会に環境保全・社会貢献活動を行います。

4

従業員を尊重し、成果に対して正当な評価をして
働き甲斐のある職場の実現をします。

5

常に絶えざる革新に挑戦し、
高い生産性と収益性を実現します。



株主の皆さまへ



マックスバリュ九州株式会社
代表取締役社長
柴田 英二
EIJI SHIBATA

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、円安の進行による原材料価格の上昇及び2014年より予定されている消費税増税等による消費者の購買意欲の低下など、引き続き厳しい経営環境が続いております。また、当社グループが地盤としております九州地区におきましては、改善の動きが鈍い雇用情勢や所得の伸び悩みなどによる生活者の低価格志向、少子高齢化によるマーケットの縮小、異業種の食品市場への参入拡大による厳しい価格競争等、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような経営環境の中、「九州のスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーへ」のスローガンのもと、新店舗の開発及び既存店舗の活性化、また、更なる成長と熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでまいりました。

成長の要となる新規店舗としまして、3月にマックスバリュ別府上原店（大分県）及びマックスバリュエクスプレス片江店（福岡県）、4月にマックスバリュ新宮杜の宮店（福岡県）を開店しました。また、既存店の活性化により売上高及び営業利益の向上を図るため、10店舗を改装を実施した一方で、効率的な店舗網の構築のため4月にマックスバリュ古賀店（福岡県）、8月にマックスバリュ大石店（福岡県）及びマックスバリュハロー村田店（佐賀県）を閉店いたしました。

営業面におきましては、昨年後半から開始しました「火曜市」の強化及びWAONポイント増量セール等を、商品面におきましてはイオンのブランド「トップバリュ」を拡販するトップバリュウィークの開催、約100種類のお惣菜を欲しい量だけ1g 1円でお買い求めいただける「おかずバイキング」コーナーの展開拡大、また毎朝、地元市場より直仕入れた新鮮な鮮魚類を提供する取り組み等により買上点数及び来店客数のアップを図り、売上高及び売上総利益の拡大を図りました。

販売費及び一般管理費につきましては、電気料金の値上によるコスト増が見込まれる中、削減への取り組みとして、店舗維持に係るメンテナンス費用等固定的なものの見直しに引き続き取り組み、改善を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高68,775百万円、営業利益862百万円、経常利益868百万円、また、特別損失にて減損損失等174百万円を計上したことにより、四半期純利益は342百万円となりました。

当社グループは今後も引き続き、お客様の視点に立った改革を実行し、地域のお客様に広くご支持いただける企業を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年10月

当社は2014年2月期第2四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

当社が展開する店舗フォーマット 「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」について

当社では成長戦略として九州全域での新規出店を継続して推進しております。従来の「マックスバリュ」での出店に加え、都市部対応型・シニア対応型である「マックスバリュエクスプレス」、価格競争力と収益性を追求した「ザ・ビッグ」「ザ・ビッグエクスプレス」での出店も強化しています。

マックスバリュ



中核モデル
「マックスバリュ」

小型都心モデル
「マックスバリュエクスプレス」

「マックスバリュ」は、地域のお客さまの毎日の暮らしに必要な生鮮食料品、加工食料品、酒、日用雑貨などを、品質・価格・品揃え・サービスにおいて『最大限(マックス)の価値(バリュ)で提供する』をコンセプトに、24時間年中無休で営業しています。



◀広い駐車場と売場を持ち、地域のお客さまに合わせた商品を豊富にお値打ち価格で品揃えし、地域にとってなくてはならない便利なお店を目指す「マックスバリュ」



▶コンパクトな売場で日頃の生活に必要なものが揃う便利なお買い物環境を提供する「マックスバリュエクスプレス」

ザ・ビッグ



SM-DS
「ザ・ビッグ」

都市部小型
「ザ・ビッグエクスプレス」

「ザ・ビッグ」は、『買えば買うほど安さがわかります』をコンセプトに、お客さまが日々利用される商品を中心に「マックスバリュ」から取扱品目数を約30%削減し、ダイナミックに商品展開を行うことで、利用頻度の高い商品をこれまでよりお値打ち価格で提供いたします。



◀マックスバリュのノウハウも活かし、「ザ・ビッグ」「ザ・ビッグエクスプレス」は、安全安心で清潔な店内で、売れ筋商品を圧倒的なお買得価格で提供しています。



▶安さの実現のため、大量陳列で商品の補充回数を減らす、ダンボール箱のまま陳列するなど店内作業の効率化を図っています。



佐賀県内で「旬鮮市場」などを展開する株式会社クリエイトを子会社化

株式会社クリエイトは、1992年12月に創業し佐賀県内において生鮮食品に強みを持った「旬鮮市場」など6店舗を展開する食品スーパーマーケット企業です。今回の株式譲受によりマックスバリュ九州株式会社は、株式会社クリエイトの持つ地場商品の調達力とイオングループの商品調達力を活かし、地域に根ざしたスーパーマーケットの展開を積極的に進めてまいります。また、両社の持つ経営資源を有機的に結合させ、お客さまにこれまで以上に価値ある商品・サービスの提供に取り組んでまいります。



旬鮮市場 江北店

ショッピングタウン
サンパーク

旬鮮市場 久保田店



デイリーフレッシュ旬鮮
アクロスプラザ武雄店

旬鮮市場 中原店

旬鮮市場 鳥栖店

生鮮食品の地場仕入ルートを活用した圧倒的販売力

強みを活かしたベストローカルの追求

株式会社クリエイトについて

概要

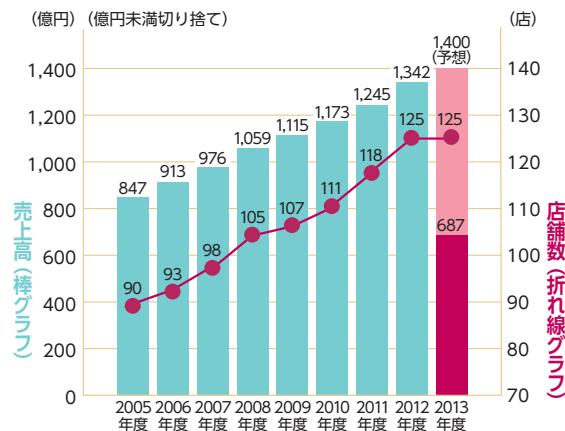
商 号	株式会社クリエイト
会 社 設 立	1992年12月
本 社 所 在 地	佐賀県杵島郡白石町戸ヶ里2337-1
直近年度売上高	52.5億円(2013年3月期)
資 本 金	5,000万円
従 業 員 数	263名 (2013年4月末時点)
	(うちパートタイマー178名)
店 舗 数	6店舗
役 員 一 覧	取締役会長 柴田英二 代表取締役社長 山本重信 取締役 川越俊朗 監査役 出口博
	(2013年7月22日付)



2013年度
新規出店の
ご案内



売上高・店舗数の推移



(2013年度の店舗数は2013年8月31日現在の数字です。)
(2013年度のみ連結決算です。)

- 福岡県 40 店舗
- 佐賀県 13 店舗
- 長崎県 14 店舗
- 熊本県 19 店舗
- 大分県 13 店舗
- 宮崎県 15 店舗
- 鹿児島県 11 店舗
- 全125店舗2013年8月31日現在
- =本社
- =店舗
- =店舗(ザビツ)



九州7県の自治体とイオンとの包括提携協定の締結

イオンは、全国各地の地域行政と協働し、防災・福祉・環境保全の推進や、「ご当地WAON」などを活用した商業・観光の振興など、さまざまな分野で双方が持つ資源を有効に活用するための協定を締結しています。各地域で災害が発生した場合に、物資の供給や避難場所の提供などを行うほか、イオンの店舗での特産品フェアや観光PR、地域の農産品を使ったお弁当の共同企画などを実施。こうした取り組みを通じて地域経済の活性化や生活サービスの向上などに寄与しています。

この度、2013年9月19日の長崎県との包括提携協定により、当社が地盤とする九州7県すべてにおいて包括提携協定が締結されました。

- 2013年9月19日・・・長崎県とイオン株式会社との包括提携協定
- 2013年8月 5日・・・宮崎県とイオン株式会社との包括提携協定
- 2013年7月22日・・・熊本県とイオン株式会社との包括提携協定
- 2012年7月23日・・・佐賀県とイオン株式会社との包括協定
- 2012年7月13日・・・大分県とイオン株式会社との地域協働事業協定
- 2012年4月20日・・・福岡県とイオン株式会社との包括提携協定
- 2011年8月25日・・・鹿児島県とイオン株式会社との包括提携協定



ホームページのご紹介

<http://www.mv-kyushu.co.jp/>

当社ホームページでは、最新のIRニュースや財務情報など、株主・投資家様向けの情報はもちろんのこと、当社をより理解していただくためのさまざまな情報を掲載しております。

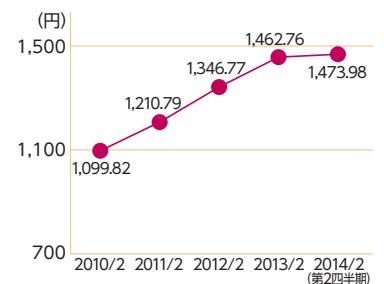
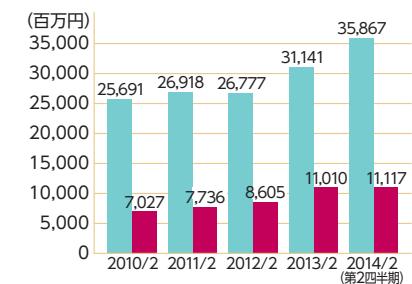


営業の概況

営業面及び商品面におきましては、昨年後半から開始しました「火曜日」の強化及びWAONポイント増量セール、イオンのブランド「トップバリュ」を拡販するトップバリュウィークの開催、約100種類のお惣菜を欲しい量だけ1g1円でお買い求めいただける「おかずバイキング」コーナーの展開拡大、また毎朝、地元市場より直仕入れた新鮮な鮮魚類を提供する取り組み等により買上点数及び来店客数のアップを図り、売上高及び売上総利益の拡大を図りました。

販売費及び一般管理費につきましては、電気料金の値上によるコスト増が見込まれる中、削減への取り組みとして、店舗維持に係るメンテナンス費用等固定的なものの見直しに引き続き取り組み、改善を図りました。

※2014年2月期(当期)のみ連結決算です。



※当社は2014年2月期(当期)より連結決算となっております。

連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円) 【ご参考】貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2013年8月31日現在)	前期末 (2013年2月28日現在)
■資産の部		
流動資産	13,877	10,181
固定資産	21,989	20,960
有形固定資産	15,033	14,573
無形固定資産	491	31
投資その他の資産	6,464	6,355
資産合計	35,867	31,141
■負債の部		
流動負債	20,900	16,567
固定負債	3,849	3,562
負債合計	24,750	20,130
■純資産の部		
株主資本	10,970	10,891
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	7,950	7,871
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	124	119 (評価・換算差額等)
新株予約権	22	—
純資産合計	11,117	11,010
負債・純資産合計	35,867	31,141

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円) 【ご参考】損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2013年3月1日～ 2013年8月31日)	前第2四半期 (2012年2月21日～ 2012年8月20日)
売上高	68,775	64,692
売上原価	52,641	49,447
売上総利益	16,134	15,245
販売費及び一般管理費	16,093	14,782
営業利益	862	1,256
営業外収益	25	21
営業外費用	20	25
経常利益	868	1,253
特別利益	—	12
特別損失	174	5
税金等調整前四半期純利益	693	1,260 (税引前四半期純利益)
法人税、住民税及び事業税	315	520
法人税等調整額	35	57
四半期純利益	342	681

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円) 【ご参考】CF計算書(要旨) (単位:百万円)

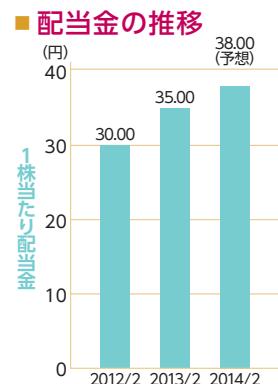
科目	当第2四半期 (2013年3月1日～ 2013年8月31日)	前第2四半期 (2012年2月21日～ 2012年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,498	2,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,120	△1,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△690	△128
現金及び現金同等物の増減額	3,688	282
現金及び現金同等物の期首残高	3,662	2,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,350	2,292

株主還元

当社は、株主に対する利益の還元を経営上の重要な施策と位置づけており、事業規模の拡大と経営の効率化によって企業価値を高めるために必要な内部留保資金を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。また、内部留保金につきましては、店舗の新設及び改装、システム投資並びに人材育成のための教育投資等に活用し、事業基盤の強化と更なる業容の拡大につなげてまいります。

なお、当事業年度の配当金につきましては、1株当たり38円を予想しております。

■ 2014年2月期
(予想)
1株当たり配当金
38円



株主優待

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様に対し、「株主様ご優待券」または「当社指定の地域特産品」のいずれかをご選択いただき、贈呈しています。

区分	①株主様ご優待券	②当社指定の地域特産品
100株 } 1,000株 未満	50枚  (100円券×50枚=5,000円分)	3,000円相当
1,000株 } 2,000株 未満	100枚  (100円券×100枚=10,000円分)	5,000円相当
2,000株 以上	200枚  (100円券×200枚=20,000円分)	5,000円相当

※2014年2月期の地域特産品の内容につきましては、現在決定しておりません。

会社概要 / 株式の状況

会社概要 (2013年8月31日現在)

会社名	マックスバリュ九州株式会社
設立	2002年3月
資本金	1,587百万円
本店所在地	福岡市博多区博多駅東三丁目13番21号
従業員	社員1,060名、フレックス社員他5,368名 (ただし1日8時間換算による)
店舗数	125店舗
主要な事業内容	食料品及び日用雑貨品等の小売販売及びテナントに対する不動産賃貸業等

役員 (2013年8月31日現在)

代表取締役社長	柴田英二	取締役	四宮智明
常務取締役	山本重信	取締役	赤木正彦
常務取締役	井上 渡	社外取締役	首藤哲男
取締役	出口 博	常勤監査役	三林節男
取締役	恒屋良彦	社外監査役	古賀和孝
取締役	田中 實	社外監査役	花山克博
取締役	鈴木信行	社外監査役	牧 和男
取締役	久保川順全		

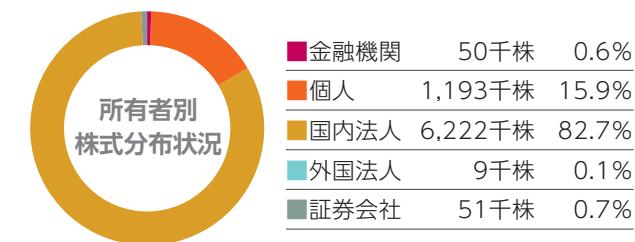
株式の状況 (2013年8月31日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	7,527,195株
株主数	4,821名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン株式会社	5,800	77.05
マックスバリュ九州従業員持株会	56	0.74
横尾廣昭	49	0.65
牛島真澄	41	0.55
株式会社エーブル	39	0.51
山本重利	37	0.50
ミニストップ株式会社	37	0.50
マックスバリュ九州共栄会	35	0.46
マックスバリュ西日本株式会社	30	0.40
三菱食品株式会社	30	0.39
加藤産業株式会社	30	0.39

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。2. 持株比率は、自己株式(37株)を控除して算出してあり、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



■ 株主メモ

上場市場	東京証券取引所JASDAQ市場	公告掲載方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむをえない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
上場日	2012年2月22日	電子公告掲載URL	http://www.mv-kyushu.co.jp/
証券コード	3171	株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内	各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 http://www.tr.mufj.jp/daikou/
株主確定基準日	毎年2月末日		
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日/毎年8月末日		
株式の売買単位	100株		

■ 『復興特別所得税』に関するご案内

東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法（平成23年法律第117号）の施行に伴い、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、追加課税されることとなりますので、ご案内いたします。

上場株式の配当金に関する『源泉徴収税率』変更のご案内

◆平成26年1月1日以降に支払いを受ける、上場株式の配当金には、原則として20%（所得税15%、住民税5%）の源泉徴収税率が適用になります。

◆また、平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることになっております。

平成26年以降、上場株式の配当金には、復興特別所得税を含め、

20.315%（※）の源泉徴収税率が適用になります。

（※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

	平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税(含む復興特別所得税)	7.147%	15.315%	15%
住民税	3%	5%	5%
合 計	10.147%	20.315%	20%

○源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

○本ご案内は、上場株式の配当金に係る税金について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問合せください。本ご案内は平成25年8月時点の情報をもとに作成しております。

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3171

いいかば

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



木を植えています

私たちはイオンです



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

